

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

RPPC に関連する発表は、特にございません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター発信のメルマガ 9 月号のお知らせ

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. カルシア改質材で東予港岸壁の裏埋工事を計画
2. 国土交通省、改正土対法見直しの動きで臨海部土地活用検討
3. 四国地整、須崎港で鉄鋼スラグによる藻場造成実証試験

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター発信のメルマガ 9 月号の  
お知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センターより、NPO 法人発信のメル  
マガ 9 月号が届きました。添付ファイルをご覧ください。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. カルシア改質材で東予港岸壁の裏埋工事を計画

四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所は、東予港で整備を進  
めている中央地区マイナス 7・5 m 複合一貫輸送ターミナルの裏埋工  
にリサイクル材を用いる方針。現在裏埋工の施工手順および施工法  
の検討業務の発注手続きに入っている。

リサイクル材には浚渫土と鉄鋼スラグを混練りした「カルシア改  
質材」を対象にしている。浚渫土は事業中の水深 7・5 m 岸壁前面の  
航路・泊地浚渫工事での発生土を活用する。これまで実施して来た  
浚渫土は約 5 km 離れた処分場に海上輸送していたが、ふ頭直背後の  
裏埋材として利用することによるコスト低減などの効果が見込まれ  
ている。松山港空整備事務所では、手続き中の業務結果を参考に、  
裏埋土としてカルシア改質材の利用が可能かどうか、在来工法との  
コスト比較などを行い、同材料での事業化が可能となれば航路・泊  
地浚渫事業とのタイミングを合わせ、29 年度第 1 四半期～第 2 四  
半期に工事を行う方針。

【港湾空港タイムス】

-----

2. 国土交通省、改正土対法見直しの動きで臨海部土地活用検討

国土交通省港湾局は、平成 22 年に施行になった現行の改正土壤汚染対策法について、環境省がその見直し作業に入っていることに伴い、臨海部土地活用の新たな対応策について検討を始める。

現行の改正土壤汚染対策法では自然由来の汚染土壌についてもその取扱いや移動について大きな規制がかけられ、土地の有効活用や経済的な視点で制約が大きく、浚渫土による土地造成や活用が停滞する要因の一つにもなっている。環境省の新たな見直しでは、自然由来・埋立材由来など基準不適合土壌の取扱いについて一定の緩和が講じられる見通しとされており、港湾局では環境省の同対策法見直しの方向も睨みつつ、浚渫土砂の活用や搬出等の取り扱いがスムーズに進むような方策を検討する。

【港湾空港タイムス】

### 3. 四国地整、須崎港で鉄鋼スラグによる藻場造成実証試験

四国地方整備局港湾空港部は9月13日、第3回「我が国港湾における鉄鋼スラグを活用した環境改善・創造方策に関する検討会（座長・春日井康夫国総研副所長）」を開催した。

四国地整では須崎港湾口防波堤をモデルに、鉄鋼スラグを活用した藻場造成技術の実用化に向けた実証試験を行っており、昨年度は成体した藻を防波堤の被覆ブロックに移植した。今回の検討会ではそのモニタリング結果を報告したほか、今年度は播種実験の実施が了承された。今年10月下旬頃、須崎港西防波堤の被覆ブロックに種を播き、その成長を追跡調査する方針。みなと総研が同業務を請け負っている。

須崎港防波堤では高知港湾・空港整備事務所の直轄事業として、粘り強い防波堤に向けた築造を順次進めており、防波堤背後の補強として既設の腹付石の上に被覆ブロックの設置等を行っている。鉄鋼スラグを活用した環境改善・創造は、この被覆ブロックステージを活用して藻場造成に取り組んでいる。今年度は被覆ブロック上の約1500平方mの範囲を対象に試験実施する。

【港湾空港タイムス】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菖木

URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

# PORTTOWN MAGAZINE

<2016年9月号>

2016年9月15日配信

このたびの熊本県および、大分県を震源とする地震により  
被害を受けられた皆さま、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます

みなさん、こんにちはメルマガ編集担当の齋藤です。今月も日本海側リサイクルポート、能代港、酒田港、姫川港、境港、各港の最新情報を皆さんにお伝えしていきたいと思ひます。それではPORTTOWN MAGAZINE スタートです。

## //// I N D E X //////////////////////////////////////

### ① 能代港ニュース

秋田・能代の風力発電、市民から出資募る。

### ② 酒田港ニュース

天皇、皇后両陛下が来県 豊かな海づくり大会・山形開催。

山形県で初！ジオパーク認定決定！！

第3回 BJW 大日本プロレス酒田港インターコンチネンタルタッグ  
選手権開催決定。

### ③ 姫川港ニュース

田舎暮らし体験、10月にスタート。

### ④ 境港ニュース

原発事故想定、船で避難...境港から鳥取港へ。

### ⑤ 編集後記

## ■ 能代港ニュース

### ○秋田・能代の風力発電、市民から出資募る

秋田県内の9社と能代市が出資し、同市沿岸部に大規模風力発電所を建設中の「風の松原自然エネルギー」（能代市）は24日、資金調達の一部に市民ファンドを活用すると発表した。能代市民の出資を募り、電力会社への売電収入を配当する。市民に限った自然エネルギーの資金調達は珍しい。同社は大森建設（能代市）や秋木製鋼（同）など県内の9社と同市が出資して設立した。能代市の沿岸部に出力2300キロワットの風車17基を設置し、今年12月の稼働をめざす。

## ■ 酒田港ニュース

### ○天皇、皇后両陛下が来県 豊かな海づくり大会・山形開催

天皇、皇后両陛下は10日、第36回全国豊かな海づくり大会出席などのため、特別機で庄内空港（酒田市）に到着された。鶴岡市立加茂水族館などを視察後、歓迎レセプションに臨まれた。両陛下は、栽培漁業の調査・開発を担う鶴岡市の県水産試験場を訪問。市立加茂水族館に足を運び、奥泉和也館長の説明に耳を傾けながら館内を視察された。5千匹以上のミズクラゲを展示する世界最大級の大水槽（直径5メートル）前で立ち止まると、両陛下は悠然とゆらめくクラゲの姿に「この中で繁殖するものもあるのですか」などと質問された。

全国豊かな海づくり大会は11日、両陛下を迎えて酒田市民会館で式典行事を、鶴岡市の鼠ヶ関港で海上歓迎・放流行事を行う。両陛下は12日に鶴岡市の松ヶ岡開墾場を視察後、午後に庄内空港から特別機で離県された。

### ○山形県で初！ジオパーク認定決定！！

9月9日（金）、秋田県にかほ市役所象潟庁舎で、鳥海山・飛鳥ジオパーク構想 日本ジオパーク認定審査結果報告が行われました。

同ジオパーク構想推進協議会の関係者が見守る中、午後3時過ぎに電話が鳴り、会長の横山にかほ市長に対し、全会一致での認定が通知されました。副会長の酒田市丸山市長は「これまでご尽力いただいた関係者の皆さんや、事務局の皆さんに感謝したい」と喜びの言葉を述べました。

## ○第3回BJW大日本プロレス酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権開催決定。

一昨年9月、昨年10月に酒田港で行われた「BJW大日本プロレス酒田港インターコンチネンタルタッグトーナメント選手権大会」。今年は10月2日（日）に開催決定となりました。

ポスターも出来上がり、着々と準備がすすんでおります。

※ 今回のポスターはBJW大日本プロレス酒田港インターコンチネンタルタッグトーナメント選手大会 Facebook ページにて公開中です！

<https://www.facebook.com/BJWsakataport/>

## ■ 姫川港ニュース ————— . . . . .

### ○田舎暮らし体験、10月にスタート

糸魚川市は、週末の1泊2日で移住や田舎暮らしを体験できる「ゆるっと糸魚川暮らし」を10月にスタートさせる。市職員が同行し、移住アドバイザーとの交流などを通して糸魚川の魅力に接してもらい、市は本格的な移住につなげたい考え。市は各地区でプランを計画しており、10月は市内の中心部で「越後の上高地」とも呼ばれ、紅葉が美しい海谷溪谷のある西海地区が対象。

申し込み・問い合わせは市定住促進課（025・552・1511）

## ■ 境港ニュース ————— . . . . .

### ○原発事故想定、船で避難...境港から鳥取港へ

中国電力島根原発（松江市）の事故を想定した原子力防災訓練が、鳥取県職員ら約100人が参加して鳥取市などで行われた。境港から鳥取港へ、船を使った避難が初めて行われたほか、同市内では、避難所開設の訓練もあった。

原発事故で避難指示が発令されたとの想定で、県などが実施。波が高かったため、予定されていた住民約30人の乗船は取りやめ、境港、米子両市の職員らが海上自衛隊の多用途支援艦「ひうち」に乗船した。一部は、陸上孤立者を想定し、海上保安庁の巡視艇から乗り継いで参加。境港を午前8時半に出発し、鳥取港に正午過ぎに到着した。

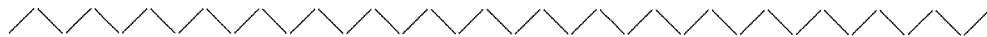
支援艦から下りた職員らは岸壁で、身体に計測器を当ててもらって放射線量を測る「避難退域時検査」を受けた。境港市の木下泰之防災監は「船舶避難は心強いが揺れもあり、住民避難に活用する際は体調不良への対応も必要。誘導法などを考える上で参考になった」と話した。

■ 編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。

去年の編集後記にも「今年の夏は暑い」なんてことを書いていましたが、今年も例年以上に暑い夏になりました。読者の皆様は、体調など崩しておりませんか？先月香港に行く機会があり、8月の香港は日本のような暑い夏ではなく、不快指数90%のジメジメとした夏でした(ちなみに今年は香港でも例年にないくらい暑い夏だそうです)。室内に入ると鳥肌が出るほど寒い。クーラーの設定温度は19℃！ですが、食べ物や飲み物は温かいものが常に提供されます。外側は冷たくしても、内側は冷やさなければ健康でいられる、これが香港では普通のライフスタイルなのですね。涼の取り方一つとっても国が変わればこんなに違う、私にとって今年の夏は「世界」の広さを体感できた夏でした。

それでは、次回の PORTTOWN MAGAZINE をお楽しみに。



PORTTOWN MAGAZINE

配信日 毎月 15 日



発行元

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター 担当：齋藤

〒998-0005 山形県酒田市宮海字南浜 1 番地 50

TEL:0234-31-7117 FAX:0234-33-2600

MAIL:norio@sakataport.co.jp

HP:http://www.shonai-recycle.jp/

<情報提供>

能代市商工港湾課、NPO 法人能代観光協会

糸魚川市商工農林水産課、糸魚川市観光協会

境港管理組合、境港市観光協会

